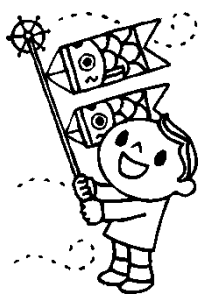


えんちょう先生の わくわくだより

NO. 6 H28. 5. 27



張り切って踊る年中さん少し前まで年少組だったのに、随分大きくなったように感じます。みんなの前で、元氣いっぱい踊ったね



(5/26) 今日5月生まれの子の誕生会。名前を呼ばれて大きな返事をして前のステージに立つ誕生日のお友達です。年長さんが作ってくれたお祝いのペンダントを首に掛け、保護者会から貰ったプレゼントにもニコニコのみんなでした。年中さんが、ぐるりとみんなを囲んで、練習したての「おおきくなるって!」のリズムを元氣いっぱい踊ってくれ、原田先生と杉本先生、男性保育士二人による「変身おばけちゃん、はらぺこだいぼうけん」のパネルシアターも楽しみました。



2 回目は山本先生のお話をきいたよ。

先生が生まれたお家は、田んぼはなかったのだけど、お嫁にきた家には、沢山の田んぼがありました。みんながいつも遊んでいる運動場が12個分の大きさだよ。(子ども「え〜おおい!」) 田植えの苗はどうやって作るかというと、秋に取れたもみ(この皮を取ったのがいつもみんなが食べているしろいごはん)を食わずにしまっておいてね、苗箱400枚に土を入れ、そこに機械で撒きます。その上に土を掛けて苗箱の完成!4日位たつと、ちょこっと芽が出てくるから、積んであった苗箱を広げてやります。(種を撒いてから11日目)そして種を撒いて33日目にやっと田植えが出来るんだよ。これが、田植えをする苗です。これを機械で田んぼに植えるんだけど、鴨が来て踏みつけちゃうで、おばあちゃんがいつも追っ払っているんだ。秋になると、田んぼの水を出して、風や大雨にも倒れない丈夫な稲にするんだよ。

秋になると、稲にお米がいっぱいついて、みんなが食べる白いお米になります。御飯が出来るまでには、大変な仕事がいっぱいあるよ。大事なお米だから、みんなも残さずに食べてね。

・・・大きく引き伸ばした写真を順番に見ながら、初から田植えが出来るまでのお話を聞きました。お家に田んぼのある子は、思い出しながらきいたかな?初めて知った事が沢山あったね。順番に、苗にも触らせてもらいました。みんな、この季節の勉強が出来てよかったね。



さて、おばけちゃん?



いちご、ひよこ組さんも誕生会に参加したよ。毛布の上が僕達の居場所です。

♪「ひとりのぞうさんくもの巣にかかってあそんでおりました〜あんまりゆかいたので〇〇ちゃんもおいでと呼びました〜」・・・うさぎさんみんなで、リズム遊びだよ!いつもは、てんでばらばらのみんなも、お友達とつながって楽しそう・・・♪
「いつもこんな風にできるといいんだけど・・・」と笑っている先生達でした。



ちよっと部屋を抜け出して、職員室へ エ〜〜〜!



指定管理園になった事で、昨年一月、県の社会福祉協議会による、第三者評価を受けました。結果はホームページにも掲載されています。5/16日に評価認定証を届けて頂きました。今年度も引き続き、評価を受ける事になります。保護者の皆さんに安心して、子どもを通わせて頂けるように、職員みんなで頑張ります。



きもちいい!



年少組は、新しく買って貰った三輪車に乗る練習を楽しんでいるよ。まずは部屋の中でこげる様にして外にだします。